

令和3年中の救急取扱状況について

令和3年中の救急車が出場した件数は、3,228件で前年より207件増加しました。

これを1か月当たりになると約269件、1日当たりになると約9件となります。

搬送人員は、3,021人で前年より232人増加となり、市民の約19人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。上位を占めているものは、急病1,994人、一般負傷625人、転院搬送225人、交通事故128人となっています。

また、搬送人員を傷病程度別で見ると、軽症1,045人(34.6%)、中等症1,754人(58.1%)、重症179人(5.9%)、死亡43人(1.4%)と、軽症者及び中等症者が高い比率となっています。

一方、65歳以上の搬送人員2,110人のうち、入院治療を必要とする中等症以上の者は、1,485人(70.4%)となっています。

搬送先別では、市内医療機関への搬送が62人(2.1%)に対し、市外医療機関等※への搬送は2,959人(97.9%)となっており、当然ながら1件の救急出場に要する時間は長くなっています。

このため、消防本部では、本当に救急車を必要とする救急患者の利用を妨げないように、緊急性のない場合などは、救急車を利用しないよう市民一人ひとりに協力と理解を周知するとともに、市民に対する普通救命講習等の応急手当の普及活動を実施し、なお一層の効果的で円滑な救急業務を目指してまいります。

※ かながわ緊急酸素投与センターへの搬送人員含む

救急出場状況

区分	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	転院搬送	計
出場件数	本署		1	1	69	6	3	281	4	8	886	148	134	1,407
	小坪分署				25	4	1	156	3	4	467	42	34	702
	北分署	3	1		39	5	10	222	2	4	751	82	57	1,119
	合計	3	2	1	133	15	14	659	9	16	2,104	272	225	3,228
搬送人員	本署			1	67	6	3	265	2	7	837	134	134	1,322
	小坪分署				25	4	1	150	2	3	442	34	34	661
	北分署		1		36	5	10	210	1	3	715	57	57	1,038
	合計		1	1	128	15	14	625	5	13	1,994	225	225	3,021

(注) 応援救急12件を含んでいます。